



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場会社名 JCRファーマ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4552 URL http://www.jcrpharm.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 芦田 信  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 葉口 明宏 TEL 0797(32)8591  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	11,236	9.3	998	△48.7	981	△51.1	922	△33.0
2019年3月期第2四半期	10,275	0.9	1,945	△20.5	2,006	△18.7	1,377	△26.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 747百万円 (△52.6%) 2019年3月期第2四半期 1,577百万円 (△18.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	29.95	29.77
2019年3月期第2四半期	44.76	44.50

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	45,626	31,276	66.9
2019年3月期	42,516	30,874	71.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 30,505百万円 2019年3月期 30,249百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	13.00	—	17.00	30.00
2020年3月期	—	15.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,400	14.0	5,140	3.5	5,150	1.6	4,080	9.8	132.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	32,421,577株	2019年3月期	32,421,577株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,596,032株	2019年3月期	1,622,379株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	30,813,925株	2019年3月期2Q	30,775,414株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. その他	10
研究開発品目	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

営業面におきましては、主力製品である遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤「グロウジェクト®」は、販売数量の増加により売上高は伸長し62億35百万円（前年同期比3億90百万円増）となりました。また、遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤「エポエチンアルファBS注JCR」および再生医療等製品「テムセル®HS注」につきましても順調に売上高が伸長し、それぞれ22億72百万円（前年同期比1億5百万円増）、15億27百万円（前年同期比5億37百万円増）となりました。昨年11月に発売したファミリー病治療薬「アガルシダーゼベータBS点滴静注JCR」につきましては1億23百万円の売上高を計上しました。また、契約金収入につきましては10億2百万円（前年同期比52百万円減）となり、当社グループ全体の売上高は112億36百万円（前年同期比9億60百万円増）となりました。

利益面におきましては、売上高の増収に伴い売上総利益が80億63百万円（前年同期比7億83百万円増）となりましたが、積極的な研究開発活動に伴い研究開発費が前年同期比で14億30百万円増加して32億55百万円となったことにより、営業利益は9億98百万円（前年同期比9億46百万円減）、経常利益は9億81百万円（前年同期比10億24百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億22百万円（前年同期比4億54百万円減）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における増収減益は、当初予想どおりの傾向です。

研究開発の状況は次のとおりです。

## [ライソゾーム病治療薬]

現在重点的に取り組んでいるライソゾーム病治療薬の開発では、独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo®」を適用した画期的な新薬の開発をおこなっております。特に、血液脳関門通過型ハンター症候群治療酵素製剤（開発番号：JR-141）については、昨年6月よりブラジル連邦共和国で臨床第2相試験、昨年8月から日本で臨床第3相試験をそれぞれ開始し、臨床試験はいずれも順調に進捗しました。その他の地域では昨年10月に米国食品医薬局（FDA）、本年2月に欧州医薬品庁（EMA）よりオーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）の指定を受けるなど、グローバル展開へ着々と準備を進めております。これに続いて、ポンペ病治療酵素製剤（開発番号：JR-162）、ハレー症候群治療酵素製剤（開発番号：JR-171）、サンフィリップ症候群A型治療酵素製剤（開発番号：JR-441）といったライソゾーム病治療薬の研究開発を順次おこない、これらの新薬についても、グローバル展開を推進してまいります。

## [細胞・再生医療]

細胞・再生医療分野では、他家（同種）歯髄由来幹細胞（DPC）を用いた、急性期脳梗塞を適応症とする再生医療等製品（開発番号：JTR-161/JR-161）の共同開発契約および実施許諾契約を一昨年7月に帝人株式会社と締結し、本年2月から臨床第1/2相試験にて患者投与を開始しております。さらに、本年7月から新生児低酸素性虚血性脳症（開発番号：JR-031HIE）への「テムセル®HS注」の新たな適応拡大として臨床第1/2相試験を開始しております。

なお、「テムセル®HS注」の皮下投与による表皮水疱症に対する適応拡大について、同適応症に対する有効性をより明確に示す必要があると判断し、本年9月に承認申請を一旦取り下げしております。

## [主力製品への取組み]

本年9月20日、キッセイ薬品工業株式会社と共同開発を行ってまいりました持続型赤血球造血刺激因子製剤ダルベポエチンアルファBS注「JCR」の製造販売承認を取得いたしました。

また、昨年7月から成長ホルモン製剤「グロウジェクト®」の効能追加としてSHOX異常症患者に対する臨床第3相試験を、また、本年5月からは遺伝子組換え持続型成長ホルモン製剤（開発番号JR-142）の臨床第1相試験を開始しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は456億26百万円（前連結会計年度末比31億9百万円増）、負債合計は143億50百万円（前連結会計年度末比27億7百万円増）、純資産合計は312億76百万円（前連結会計年度末比4億1百万円増）となりました。

流動資産は、売掛金が減少した一方で、現金及び預金およびたな卸資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ2億66百万円増加して276億35百万円となりました。固定資産につきましては、研究関連施設の増強などにより有形固定資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ28億43百万円増加して179億90百万円となりました。

流動負債は、短期借入金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ10億2百万円増加して96億86百万円となりました。固定負債は、長期借入金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ17億5百万円増加して46億63百万円となりました。なお、これらの借入金の増加は、研究関連施設の増強などに伴うものであります。

純資産につきましては、配当金の支払いの一方で親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどにより、前連結会計年度末に比べ4億1百万円増加して312億76百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ4.2ポイント低下して66.9%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ18億76百万円増加して99億68百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況および主な要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、29億49百万円（前連結会計年度比5億76百万円の収入増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上額10億98百万円、減価償却費の計上額6億58百万円、売上債権の減少額20億98百万円があったことによるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、36億12百万円（前連結会計年度比39億48百万円の支出増）となりました。これは主に有価証券の売却及び償還による収入2億40百万円があった一方で、有形固定資産の取得による支出37億46百万円があったことによるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、25億95百万円（前連結会計年度比30億27百万円の収入増）となりました。これは主に、配当金の支払額5億25百万円があった一方で、短期借入金の純増額10億円、長期借入れによる収入22億円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結業績におきましては、主として「テムセル®HS注」の販売が予想を上回って推移したことにより、売上高は当初予想を上回りました。利益面では、研究開発費は当初予想どおり前期を大幅に上回りましたが、増収効果および販売・一般管理費の抑制などにより、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれも当初予想に比べて増益となりました。

なお、通期の業績予想につきましては、現在積極的な研究開発活動を行っており、下半期には当初予定しなかった研究が進捗する可能性があるため、前回予想数値を据え置きますが、今後の業績推移に応じて修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。通期の業績予想は次のとおりであります。

## 2020年3月期通期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	26,400	5,140	5,150	4,080	132.38

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,836	10,013
受取手形及び売掛金	8,835	6,736
有価証券	661	431
商品及び製品	2,281	1,696
仕掛品	1,473	3,563
原材料及び貯蔵品	5,363	4,716
その他	917	477
流動資産合計	27,368	27,635
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,475	4,370
土地	3,882	5,664
建設仮勘定	851	1,681
その他(純額)	1,852	1,900
有形固定資産合計	11,061	13,616
無形固定資産	110	288
投資その他の資産		
投資有価証券	2,941	2,640
その他	1,059	1,468
貸倒引当金	△24	△23
投資その他の資産合計	3,975	4,084
固定資産合計	15,147	17,990
資産合計	42,516	45,626
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	586	966
短期借入金	3,630	4,980
未払法人税等	801	572
賞与引当金	666	787
役員賞与引当金	77	38
その他	2,922	2,341
流動負債合計	8,684	9,686
固定負債		
長期借入金	1,850	3,700
退職給付に係る負債	710	725
債務保証損失引当金	240	121
その他	157	116
固定負債合計	2,957	4,663
負債合計	11,642	14,350

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	10,922	10,890
利益剰余金	13,350	13,748
自己株式	△3,937	△3,871
株主資本合計	29,397	29,829
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	149	127
その他有価証券評価差額金	773	571
退職給付に係る調整累計額	△71	△23
その他の包括利益累計額合計	851	675
新株予約権	435	585
非支配株主持分	189	185
純資産合計	30,874	31,276
負債純資産合計	42,516	45,626

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	10,275	11,236
売上原価	2,995	3,173
売上総利益	7,280	8,063
販売費及び一般管理費	5,335	7,064
営業利益	1,945	998
営業外収益		
受取利息	11	7
受取配当金	14	12
為替差益	39	—
その他	12	9
営業外収益合計	77	28
営業外費用		
支払利息	11	10
為替差損	—	30
その他	5	4
営業外費用合計	16	46
経常利益	2,006	981
特別利益		
債務保証損失引当金戻入額	56	118
その他	6	—
特別利益合計	63	118
特別損失		
固定資産処分損	37	2
自主回収関連損失	174	—
その他	2	—
特別損失合計	214	2
税金等調整前四半期純利益	1,855	1,098
法人税、住民税及び事業税	552	473
法人税等調整額	△71	△299
法人税等合計	481	173
四半期純利益	1,374	924
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,377	922

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,374	924
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	190	△201
為替換算調整勘定	1	△22
退職給付に係る調整額	10	48
その他の包括利益合計	203	△176
四半期包括利益	1,577	747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,573	746
非支配株主に係る四半期包括利益	4	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,855	1,098
減価償却費	642	658
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△56	△118
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2	23
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	52	7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	147	121
株式報酬費用	—	175
受取利息及び受取配当金	△26	△19
支払利息	11	10
為替差損益 (△は益)	△36	23
売上債権の増減額 (△は増加)	462	2,098
未収入金の増減額 (△は増加)	76	25
たな卸資産の増減額 (△は増加)	115	△860
仕入債務の増減額 (△は減少)	4	379
未払金の増減額 (△は減少)	△84	195
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△51	△334
その他	39	135
小計	3,148	3,619
利息及び配当金の受取額	27	21
利息の支払額	△10	△10
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△792	△680
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,372	2,949
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却及び償還による収入	611	240
有形固定資産の取得による支出	△276	△3,746
無形固定資産の取得による支出	—	△106
投資有価証券の取得による支出	△0	—
その他	1	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	335	△3,612
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300	1,000
長期借入れによる収入	—	2,200
長期借入金の返済による支出	△213	—
リース債務の返済による支出	△100	△88
自己株式の純増減額 (△は増加)	14	10
配当金の支払額	△432	△525
その他	—	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△432	2,595
現金及び現金同等物に係る換算差額	31	△55
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,308	1,876
現金及び現金同等物の期首残高	4,850	8,091
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,158	9,968

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

研究開発品目  
遺伝子組換え医薬品

開発番号 (一般名)	開発段階	適応症等	備考
J R - 1 4 1 (血液脳関門通過型遺伝子組換え イズロン酸-2-スルファターゼ)	日本: 臨床 第3相試験 ブラジル: 臨床 第2相試験	ハンター症候群 (ライソゾーム病)	酵素補充療法 血液脳関門通過技術 「J-Brain Cargo®」採用
J R - 1 6 2 (J-Brain Cargo®適用遺伝子組換え酸性 α-グルコシダーゼ)	前臨床	ポンペ病 (ライソゾーム病)	酵素補充療法 「J-Brain Cargo®」採用 「J-MIG System®」採用
J R - 1 7 1 (血液脳関門通過型遺伝子組換え α-L-イズロニターゼ)	前臨床	ハーラー症候群 (ライソゾーム病)	酵素補充療法 「J-Brain Cargo®」採用 「J-MIG System®」採用
J R - 4 4 1 (血液脳関門通過型遺伝子組換え ヘパランN-スルファターゼ)	前臨床	サンフィリップ症候群A型 (ライソゾーム病)	酵素補充療法 「J-Brain Cargo®」採用 「J-MIG System®」採用
J R - 1 3 1 (遺伝子組換えダルベポエチンアルファ)	製造販売 承認取得	腎性貧血	キッセイ薬品工業(株)と共同開発 バイオ後続品
J R - 4 0 1 X (遺伝子組換えソマトロピン)	臨床 第3相試験	SHOX異常症	「グロウジェクト®」適応拡大
J R - 1 4 2 (遺伝子組換え持続型成長ホルモン)	臨床 第1相試験	成長障害	持続型成長ホルモン製剤 改変型アルブミンを用いた技術 「J-MIG System®」採用
J R - 0 4 1 (遺伝子組換え卵胞刺激ホルモン)	臨床 第1/2相 試験	不妊治療	あすか製薬(株)へ導出

再生医療等製品

開発番号 (一般名)	開発段階	適応症等	備考
J R - 0 3 1 E B (ヒト間葉系幹細胞)	2019年9月 申請取り下げ(今後の 開発方針検 討中)	表皮水疱症	テムセル®HS注適応拡大 再生医療等製品
J R - 0 3 1 H I E (ヒト間葉系幹細胞)	臨床 第1/2相 試験	新生児低酸素性虚血性脳症	テムセル®HS注適応拡大 再生医療等製品
J T R - 1 6 1 / J R - 1 6 1 (ヒト歯髄由来幹細胞)	臨床 第1/2相 試験	急性期脳梗塞	帝人(株)と共同開発 再生医療等製品